

実学を120年。「経営 経済」のKAETSU



2023年度

入学試験問題

政策・税務・会計領域

マネジメント領域

情報領域

嘉悦大学大学院
ビジネス創造研究科
【博士前期課程】

嘉悦大学大学院 2023 年度入試 試験問題《政策・税務・会計領域》

第 1 期の試験問題

次の問題から一つを選んで、あなたの考えを 1,200 字以内で解答しなさい。

また、解答用紙に選択した問題番号を○(マル)で囲みなさい。

問題番号 1

会計の意義と分類について、下記の用語を用いて説明しなさい。

- ① 金融商品取引法会計 ②非営利会計 ③管理会計 ④税法会計 ⑤制度会計
⑥ 財務会計 ⑦企業会計 ⑧会社法会計 ⑨非制度会計 ⑩マイクロ会計

問題番号 2

租税法律主義について、以下の7つの用語を必ず使用した上で論述しなさい。

課税要件法定主義

課税要件明確主義

法律

政令

省令

通達

文理解釈

問題番号 3

予期せぬイベントによって、ある財・サービスの需給の不均衡が突然発生したとしよう。ここでは、供給が一定のまま需要がにわかに急減し、超過供給が発生したとしよう。なお、供給量の調整には時間がかかるため、短期の供給曲線は垂直に近いと考えよう。このとき、以下の 3 つの政策が提案されたとする。

- ・政策 A: 供給側の企業に対して、売上を補填する補助金を支給する政策
- ・政策 B: 供給側の企業に対して、人件費を助成する補助金を支給する政策
- ・政策 C: 需要側の家計に対して、クーポンを配布し需要を喚起させる政策

政策 A から政策 C で政策効果にはどのような違いが出るであろうか。それぞれの政策の利点、欠点をできる限り列挙したうえで、考えられる政策効果の違いについてあなたの考えを理由とともに記述せよ。具体的な事例(例えば COVID-19 に関連する事例)を挙げて議論しても良い。

第2期の試験問題

次の問題から一つを選んで、あなたの考えを1,200字以内で解答しなさい。

また、解答用紙に選択した問題番号を○(マル)で囲みなさい。

問題番号1

会計公準及び会計主体論の意義について、下記の用語を用いて説明しなさい。

①企業実体の公準 ②継続企業の公準 ③貨幣的評価の公準 ④資本主理論 ⑤企業体理論

問題番号2

株式会社Aの取締役Bが、株式会社Cの取締役D及び株式会社Eの取締役Fとともにゴルフをした。株式会社Aがこのゴルフ代金すべてを支出した場合、当該支出について、株式会社Aにおいてはどのような税務処理が考えられるか論述しなさい。

問題番号3

子育て支援政策を考えよう。ここでは、出生率の回復が政策目的だとして。もちろん出生率の回復を政策目的とすること自体の妥当性については議論があるが、その点については天下り的に受け入れるものとして。このとき、以下の3つの政策が提案されたとする。

- ・政策A:子育て世帯に対して、一律に現金給付を行う政策
- ・政策B:教育(高等教育や塾等を含む)、保育に係るサービスを無償として、現物給付を行う政策
- ・政策C:教育(高等教育や塾等を含む)、保育に係る費用を、所得税額から税額控除として全額控除する政策

政策Aから政策Cで政策効果にはどのような違いが出るであろうか。それぞれの政策の利点、欠点をできる限り列挙したうえで、考えられる政策効果の違いについてあなたの考えを理由とともに記述せよ。世帯収入や世帯人員で場合分けをして議論しても良い。

第3期の試験問題

次の問題から一つを選んで、あなたの考えを1,200字以内で解答しなさい。

また、解答用紙に選択した問題番号を○(マル)で囲みなさい。

問題番号1

企業会計原則の構成について、下記の用語を用いて説明しなさい。

- ①一般原則 ②損益計算書原則 ③貸借対照表原則 ④真実性の原則 ⑤正規の簿記の原則
⑥資本取引・損益取引区分の原則 ⑦明瞭性の原則 ⑧継続性の原則 ⑨保守主義の原則
⑩単一性の原則 ⑪重要性の原則

問題番号2

現行の所得税法で規定されている所得控除のうち、あなたが問題点があると考えた所得控除を2つ挙げ、それぞれの所得控除の概要、問題点及び改善策を論述しなさい。

問題番号3

高等教育(高等学校、大学、大学院等)を無償化する国の政策を考えよう。高等教育無償化のための財源として、以下の3つの政策が提案されたとする。

- ・政策A:必要な財源を消費税増税によって手当てする
- ・政策B:必要な財源を教育国債の発行によって手当てする
- ・政策C:必要な財源を社会保障給付(公的年金等)の削減によって手当てする

政策Aから政策Cでマクロ経済に与える影響も含めた政策効果にはどのような違いが出るであろうか。それぞれの政策の利点、欠点をできる限り列挙したうえで、考えられる政策効果の違いについてあなたの考えを理由とともに記述せよ。

嘉悦大学大学院 2023 年度入試 試験問題《マネジメント領域》

次の問題について、あなたの考えを 1,200 字以内で解答しなさい。

第 1 期の試験問題

イノベーションという概念は、近年ではどのように理解されているのか。現代企業の経営戦略策定において、なぜイノベーションが最も重要視されるのか。日本企業における優れた経営戦略の実例を踏まえて具体的に説明せよ。

第 2 期の試験問題

今日、業務効率化の一環として、ナレッジマネジメントを進める企業が増えている。では、ナレッジマネジメントの各導入ステップにおいて、企業はどのような課題に直面しやすいのか。ナレッジマネジメントを成功させるためには、効果的な実施方法はあるのか。ナレッジ活用の具体例を用いて論述せよ。

第3期の試験問題

企業には、経営環境が激しく変化する中で成長を続けるため、常に組織開発を模索する必要がある。そこで近年、多くの企業から注目を集めたのは、「ティール組織」である。では、この組織モデルの特徴および注目された理由を明確にした上、「ティール組織」を運営する際の注意すべきポイントを 2 点以上挙げて、それぞれについて自身の見解を述べよ。

嘉悦大学大学院 2023 年度入試 試験問題《情報領域》

次の問題について、あなたの考えを 1,200 字以内で解答しなさい。

第 1 期

現在、ビッグデータや人工知能の技術は、マーケティングや自動運転などの日常生活における応用分野を超えて、パンデミックの広がりによるリスク分析や紛争による経済安全保障など、より幅の広い分野における適用が試みられるようになってきている。このようなビッグデータや人工知能などの技術を生かす新たなビジネス創造プランについて考え、その利点と解決すべき問題点について述べなさい。

第 2 期

スマートフォンの普及により、個人が常に持ち歩く情報端末となった。この状況を踏まえ、スマートフォンを活用したビジネス創造について提案しなさい。例えば、スマートフォンを利用した顧客との接点強化、顧客ニーズに対応するビジネスモデルの構築手法、スマートフォンに特化したビジネスアプリケーションやサービスの開発方法、あるいは、スマートフォンを活用したビジネスプロセスの効率化やコスト削減の方法など、その具体性や実現可能性を論じ、社会的・経済的な影響についても考察しなさい。

第 3 期

新型コロナウイルス感染症も世界的に収まりつつあり、オンラインから対面への移行、脱マスクなど、アフターコロナの動きが加速してきている。このような社会状況や制度変更などはビジネス創造にとって大きなチャンスである。アフターコロナの社会的・経済的な変化を踏まえ、ビジネス創造を促進するための IT ソリューションを提案しなさい。例えば、アフターコロナの新しいニーズや課題に対応し、持続可能なビジネスモデルを構築するための IT 技術やプラットフォームの活用、あるいは、AI 技術の導入、デジタルトランスフォーメーションの推進など、取り上げた事例についての具体性や実現可能性を論じ、社会的・経済的な影響についても考察しなさい。